

第177回国際高官セミナー（オンライン実施）
「再犯防止のための多機関連携と官民協働」

1 日程及び参加者

- 令和4年1月12日（水）から同年2月3日（木）まで
- 海外参加者12か国20名

2 研修概要

本研修では、京都 kongress で採択された京都宣言にも掲げられ、国際的にも重要な課題となっている多機関連携による再犯防止の取組を推進するため、関係機関相互の連携や官民協働の効果的な在り方を考慮しつつ、①刑事司法の各段階における更生的視点を取り入れた措置、②刑務所出所者等の特性に応じた処遇について、各国の知見を共有し、議論します。

3 研修実施方法

新型コロナウイルスに関する情勢に鑑み、オンライン形式により実施します。

4 客員専門家等

本研修においては、アジ研教官による講義のほか、以下の客員専門家・外部講師等による講義・活動発表を行う予定です。

【客員専門家】

- ウィル・ヒューズ氏（ロンドンメトロポリタン大学 犯罪学上級講師）
講義仮題「犯罪者の更生と再犯防止のための社会内刑罰」
「効果的な犯罪者処遇のための多機関連携」

【外部講師】

- 本田裕一朗氏（東京地方検察庁総務部社会復帰支援室長 検察官検事）
講義題「社会復帰支援室の取組」
- 鈴木貴之氏（法務省矯正局成人矯正課処遇第三係 専門官）
富澤智史氏（法務省矯正局成人矯正課処遇第三係 事務官）
講義題「就労支援における官民協働」

【地域ボランティア】

- 日本国内の保護司8名による活動発表